

生活環境の整備を重点に

総額12億8,754万8千円の新年度当初予算

昭和41年度の市政の方向と予算関係をきめる3月定例市議会は、去る3月12日から30日までの19日間にわたって開かれました。

この議会では、市制施行以来はじめて10億円を突破した一般会計予算や固定資産評議員の選任など38件にわたる議案を審議し、一部議案の修正可決のほかは原案どおり可決されました。

一般会計については、10億7,892万5千円という大型予算になりましたが本年度は、消費的経費、とくに物件費等については極力節減をはかり、懸念されている投資的事業を積極的拡大増加に努めることにしています。

また、水道、病院会計については赤字をかかえています、これらの運営については全力を傾注し、明確な資金運用のもとに財政再建をはかることにしていますし、これに対する措置として、

病院会計に2,193万円

水道会計に420万円を一般会計から繰り出し赤字解消に努めることにしています

一方、地下資源の開発を中心に関連総合経済の確立をはかりながら、事務体勢の整備と各種事業の効率的な執行のもとに市勢の発展をはかろうとするのが新年度の基本的な方針でありますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします

3月定例議会できまったこと

固定資産評価審査委員(評価員)に3氏が決定

3月31日で任期が満了した固定資産評価審査委員に つぎの3人が選任されております。

大館市字中町59 野口民治郎氏
十二所字後田24 奈良 忠吉氏
(評価員)税務課長 細田 成信氏

農業委員会の選挙区を一部改正

いままで、農業委員の選挙区は大館、長木、上川沿、下川沿、二井田、真中、十二所の各選挙区に区分されていましたが、大館選挙区内であった釈迦内地区を分離して、新たに釈迦内選挙区が設けられ、改正後の選挙区と委員の定数はつぎのとおりです。

大館選挙区＝旧市内の区域、上代野、下代野の大字区域の一部(大館土地改良区域内)

定員 2人

釈迦内選挙区＝釈迦内、商人留、松木、松峰、沼館の大字区域

定員 3人

長木選挙区＝芦田子、大茂内、茂内、東雪沢の大字区域および、上代野下代野の大字区域(大館土地改良区を除いた区域)

定員 3人

上川沿選挙区＝中山、山館、餌釣、池内小館花、根下戸の大字区域

定員 4人

下川沿選挙区＝片山、餅田、立花、川口の大字区域

定員 4人

二井田選挙区＝二井田、下川原、本宮、比内前田、杉沢、大子内の大字区域

定員 5人

真中選挙区＝櫃崎、赤石、板沢、小袴、大坡、出川の大字区域

定員 4人

十二所選挙区＝十二所、葛原、猿間、軽井沢、道目木、曲田の大字区域
定員 6人

諸収入金に係る督促手数料および延滞金の徴収に関する条例を改正

地方税法の改正によって、地方税の延滞金と延滞加算金が統合されて、延滞金となりましたので、延滞金の額および督促手数料の額も改定されました。

また、市税以外の公法上の収入にかかる延滞金と督促状の額についても市税に準じて改定になっています。

この条例によると、督促手数料の額はいままで1通につき15円であったものが20円に、また、延滞金については、100円について1日3銭であったのが1日4銭に引き上げられることになりました。(昭和41年4月1日から)

市立総合病院の業務状況の公表は年2回に

「大館市立総合病院事業の業務状況説明書の作成および公表に関する条例」が新たに制定され、病院の業務状況説明書の公表を毎年2回行なうことにし、4月1日から9月30日までの公表は11月30日、また、10月1日から3月31日までの公表は6月30日に行なうことになりました。

この公表は、事業報告書、損益計算書貸借対照表、企業債および一時借入金現在高などを市民の皆さんにお知らせし、病院業務の動きを理解していただくために公表することになります。

市立病院付属高等看護学院の生徒に、月額3,000円の奨学資金を貸付

大館市立総合病院の看護業務に従事する人材を養成するために「大館市立総合病院付属高等看護学院奨学資金貸付等に関する条例」を制定し、

(1)卒業後、国家試験に合格し、看護業務

に従事する見込みのある者

(2)学術優秀、品行方正、身心健全な者、に対して、在学中、毎月3,000円を奨学資金として無利子で貸付する制度ができました。

また、この条例では、看護学院の受験者に対して、手数料を500円納付しなければならないことに定められています

国民健康保険会計

昨年らい実施された医療費の緊急是正による増加をはじめ、利用率の11%増による医療費の自然増などによって予算総額も1億4,622万1千円となり、40年度の最終予算にくらべて15%の増になっています。

公益質屋会計

公益質屋も年々利用者が減少してきたとはいえ、まだ多くの利用者がおり、今年度は1,060万1千円の予算を計上し、順調な経営の確立をはかろうとしています。

温泉開発会計

心配された雪沢温泉の湯の量もほぼ確定してきたので、今年度は408万6千円の予算を計上し、湯の処分について検討するとともに各地区の温泉開発をすすめることにしています。

桂城土地区画整理事業会計

今年度は7万5千円を計上していますが、これは精算関係のための予算措置として計上されているものです。

用品特別会計

一般会計から500万円を繰出し、総額4,309万6千円を計上して物品会計に万全をきすことにしています。

財産区関係

下川沿財産区に 711万4千円

片山財産区に 284万4千円

川口財産区に 18万7千円

をそれぞれ計上していますが、この内訳は財産管理と財産造成費がその大部分をしめています。